



市役所バス停のLED照明灯

Q LED照明の導入について

A LED防犯灯導入を推進

松尾 孝彦 議員

質問一 LED防犯灯へ切り替えるための課題は。

二 学校、公民館、図書館への導入について。

三 今後の具体的な取り組みについて。

答弁一（市長）

現在市内には4263基の防犯灯があり、主に水銀灯や蛍光灯方式のものが設置されている。防犯灯のLED化への切り替えは、温室効果ガス排出量削減もできることから進めていくべき課題である。

25年度から、老朽化等に伴う機器交換が必要な防犯灯をLED機器に交換し、明るさなどを検証する。今後、LED防犯灯への切り替えを推進する。

二 学校、公民館、図書館には導入していないが、若葉駅西口ロー

タリーなど3か所に設置している。公共施設への導入については、費用対効果などを検証していく。

三 LED照明は導入費用が高額であるため、導入が進んでいないのが現状である。単なる節電や負担の軽減だけでなく、環境対策などの課題からも導入を図りたいと考えているが、価格の動向や商品の客観的な性能を保証する規格の確立などを注視して判断していきたい。

Q

東日本大震災を配慮した政策を

A

課題の一つと認識し、取り組む

大野 洋子 議員

質問一 第2期環境基本計画における東日本大震災の影響への配慮について、

ア 放射性物質による汚染廃棄物の処理と除染は。

イ 放射性物質による環境汚染対策は。

ウ エネルギー政策は。

二 第2期環境基本計画のサブリックコメントの結果について。

三 次世代エネルギーを活用したまちづくりとの関連について。

答弁一（市長） 本市は、法律に基づく汚染廃棄物処理や除染は、対象外である。市の対策として、局所的に放射線量が高くなる

地点の調査、除染を行った。

イ 大気中の放射線量の測定や学校給食用食材の放射能濃度の測定などを実施した。放射線量の測定値は、安定した状況である。

ウ 国のエネルギー政策の動向を注視し、地球温暖化対策と一体となった取り組みを検討する。

二 2人から31件の意見があった。意見の概要は、計画策定に合わせ

て公表する。

三 民間事業者がメガソーラー事業を本年7月から市内で開始する。事業者と共同で環境啓発や防災対策などを実施していく。

◎その他の質問 公共施設の更新問題について



放射線測定器